

つながる コミュニティFM 78.7MHz FM One



開局から6周年を迎えたコミュニティFM「エフエムワン」。地域に根差した身近な情報や、緊急時・災害時のきめ細かい情報など、暮らしに役立つ情報を発信。市民が気軽に参加できる情報の伝達手段としても、広く親しまれています。

リアルタイムの情報発信
番組は、花巻ピンポイントの天気予報やニュース、交通情報、行政情報など盛りだくさんの内容です。
また、ラジオの魅力の一つが即時性。道路の混雑状況や交通機関の発着情報、警察・市と連携した注意喚起情報、緊急のお知らせなど、花巻のリアルタイムな情報をすぐに知ることができます。

災害時の情報もエフエムワンから
災害はある日突然やってきま

コミュニティFMから身近な情報を
花巻の魅力をより身近に感じてほしい。そんな思いから、平成22年9月に開局したのが、コミュニティFM「エフエムワン」です。
コミュニティFMとは「地域発信型」の放送局。その強みを生かして、毎日「花巻」に密着した暮らしに役立つ情報を放送しているほか、緊急時や災害時にも大きな役割を果たしています。

■主な情報番組(市提供番組を含むもの) ■生放送 ■録音放送

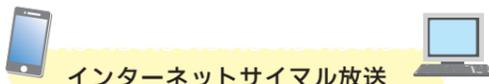
時間	番組(月曜日～金曜日)
6:00～6:05	花巻市民の歌
6:15～6:20	外国語インフォメーション
7:00～9:00	まんず787…花巻の天気、ニュース、交通情報を伝えます 交通情報、天気情報、ニュース、花巻インフォメーション(今日の予定、市民伝言板、トピックス情報など)、市役所かわら版
11:30～14:00	フラワーガーデン …花巻のイベントなど最新情報をてんこ盛り 花巻ナビ!、図書館インフォメーション、こちら市役所情報局、天気情報、ニュース
17:00～19:00	イブニングOne…会話を楽しむ自由な時間 くらしのQ&A、ニュース、交通情報、花巻インフォメーション(明日の予定、市民伝言板、トピックス情報、慶弔情報など)

時間	番組(土曜日・日曜日)
6:49～6:54	休日当番医情報(日曜日のみ)
6:54～7:00	花巻市民の歌
8:55～9:00	花巻インフォメーション(今日の予定、市民伝言板、トピックス情報など)
13:00～13:05	市民団体制作番組など(日曜日のみ)
20:45～20:55	花巻インフォメーション(明日の予定、市民伝言板、トピックス情報、慶弔情報など)

※番組情報の詳細は、えふえむ花巻株式会社(☎21-1777)へ。詳しい番組表はエフエムワンのホームページ(<http://fm-one.net/>)からもご覧いただけます。スマートフォンや携帯電話の場合は右のQRコードを読み取り



【問い合わせ】本庁秘書政策課(☎24-2111内線440)



インターネットサイマル放送

エフエムワンでは「インターネットサイマル放送」を行っています。パソコンやスマートフォン、携帯電話などを使って全国どこからでも放送を聴くことができます。

▶パソコンの場合は「<http://www.jcbasimul.com/>」へアクセス

▶スマートフォン、携帯電話の場合は右のQRコードを読み取り



総合事業での生活支援の仕組み (平成29年4月から)

- 対象者
要支援1・2の人および支援を必要とする人
- 生活支援
状態に応じて、次の3段階で生活支援を提供
▷介護サービス事業所の専門職による生活支援
▷民間事業所などの非専門職による生活支援
▷地域のボランティアなどによる生活支援

地域のボランティアなどによる生活支援 内容と生活支援サービスの単価

- 生活支援内容
掃除、ごみ捨て、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理・修繕、調理・配膳、買い物、薬の受け取りなど
- 生活支援サービスの単価
1時間当たり1,200円(想定)
※謝礼と地域団体などの事務経費を含めた金額です

地域の住民ボランティアは、あらかじめ地域団体などに登録し、支援が必要な人に対して掃除やごみ捨て、洗濯などの生活支援を行います。介護支援専門員(ケアマネジャー)などが支援計画を作成し、地域団体などに支援を依頼。ボランティアの謝礼は、地域団体などに支払われます。
特別な資格は必要ありませんので、ボランティア活動に興味のある人であれば、どなたでも参加できます。
※支援活動に関する知識や技術を学ぶ研修会への参加が必要です

- 【問い合わせ】本庁長寿福祉課(☎24-2111内線521)
- 介護事業所向け説明会
11月8日(火)、午後3時～5時、花巻市交流会館
- 民間事業所・市民団体向け説明会
11月18日(金)、午後3時～5時、花巻市交流会館
- ※時間はいずれも午後6時30分から

来年4月から、国が進める「介護予防・日常生活支援総合事業」(以下「総合事業」)が本市でも始まります。
総合事業では、介護サービス事業所に加え、地区単位のボランティア団体や住民団体の助け合い組織など、多様な団体が新たな担い手となって、生活支援を行うことを目指しています。

なぜ住民が生活支援の担い手になるの?
地域の高齢化率の上昇や人口減少が加速するなか、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者は増加しています。このような状況が続くと介護人材が不足し、これまでどおりの介護サービスが受けられなくなること

が心配されます。
そのため、高齢者が地域とのつながりや生きがいを持って暮らしていくために、地域ぐるみでの介護、地域のニーズに応じたさまざまな担い手による生活支援が求められてきています。

- 地域の住民ボランティアは
どんな生活支援をするの?
- 住民向け説明会
▼11月14日(月)：文化会館
▼11月15日(火)：石鳥谷生涯学習会館
▼11月17日(木)：東和総合支所
▼11月18日(金)：大迫交流活性化センター
※時間はいずれも午後6時30分から

住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすために 高齢者を支えるための仕組みづくりに向けて



総合事業の説明会を開催

「介護保険の制度がどのように変わっていくのか」「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすためには」。先進地域の事例紹介も含め、次の日程で説明会を開催します。申し込みは不要です。